

北区かがやき新聞

第19号
H30, 11月

先月に比べ、ずいぶん寒くなりましたね。先月なら半袖でも大丈夫な日もありましたが、最近ではダウンジャケットを出しました。寒くなるのはあつという間ですね…

9月から、小野郷で「お宅訪問」を行わせていただいています。過去の小野郷はどのような様であったのか、どのような生活をされていたのか、神社仏閣にどのような役割があったのかなどを伺えればと思っていますので、良ければお話を聞かせてください。

活動報告

岩戸落葉神社 例祭

10月14日に、岩戸落葉神社で例祭があると聞きましたので、神社のお祭りがどういったものか全く見当がつかず、見学させてもらおうと思い、私も参加させていただきました。

お祭りの前に、三方に乗せたカマスやお酒を用意し、拝殿に整えた後、神殿にお供えます。白い装束を着た宮司さんが来られ、境内を参拝された後、榊の枝で皆さんにお祓いをして下さいました。そのあと各々参拝され、私も最後に参拝させていただきました。出席された方々は皆きっちりした装いで集まられており、この式典を大切にしているのだと感じました。

奈良や滋賀にいた時はお祭りといえば夏祭りのような出店ばかりで、このような本格的なお祭りはなかった(知らなかっただけ?)ですので、こういう文化が残っていることに驚き、地域の方々の伝統を大切にすることの気持ちや信心深さを感じました。



中川 小水力利用の協議会の方々を案内

関西での小水力発電に携わる協議会の方々が、自然を活かして設置できる場所があればとの思いを持たれ、中川学区内を見に来られましたので、同行させて頂きました。小水力発電は既にある堰や水路を利用できますが、条件が色々あり、適した場所がなかなか見つからないようです。北山地域でも活用できると良いですね。

小野郷 神社仏閣の紹介

先の号でもお伝えしたように、小野郷の神社仏閣を調べているのですが、大森東町にある寿佛寺について昔の住職の方が書かれた冊子が見つかりましたので、一部ご紹介させていただきます。

寿佛寺はいつ出来たかはわからないが、本尊が平安か鎌倉の物であるため、その頃にはあったのではないかとされています。記録が伝わっているのは江戸時代からで、大森一帯が天災により不作となった際、京都妙心寺の和尚が銀を差し出し、これを助けたそうです。大いに喜んだ当時の大森の方は、和尚を無住だった寿佛寺の住職に迎え、檀家の方も増えられたそうです。

今お伝えできるのは冊子に書いてあることのみですが、「もっとこんな事があった」ということがあれば、教えていただければと思います。

